

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

腹腔鏡下結腸切除術と比較したロボット支援下結腸切除術の低侵襲性の検討

[研究責任者] 外科 医師 大石 海道

[研究の背景]

ロボット支援手術は操作性や視認性の向上、術野の安定により、従来の腹腔鏡手術と比較して「体への負担が少ない手術」になることが期待されています。しかし、大腸癌手術におけるロボット支援下手術が、本当に体への負担が少ないかどうかを調べたデータは、まだ十分でない、というのが現状です。本研究では、術後に行う採血(白血球や CRP といった炎症反応を表す数値などを評価します)や、術後の腸管機能の回復指標(術後何日で排ガスや排便が認められるか)を、ロボット支援下結腸切除術と腹腔鏡下手術で比較します。

[研究の目的]

当院で行う大腸癌に対するロボット支援下結腸切除術が、腹腔鏡下結腸切除術と比べて「体への負担が少なく、回復が早い手術」かどうかを明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

大腸癌の患者さんで、2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の間に、長崎医療センターで腹腔鏡下、もしくはロボット支援下大腸癌手術を受けた方。

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦 2026 年 4 月 30 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：血液(診療または他の研究で使った検体で保管することに以前同意をいただいたもの)

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、病理検査)、手術情報(術式、手術時間、出血量、術中合併症の有無)、術後在院日数、術後初回排ガス日、術後初回排便日、術後合併症。

●検体や情報の管理

血液検査は、院内で測定されます。情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

外科 医師 大石 海道

電話番号：0957-52-3121（代表）